

実質化された人・農地プラン（酒門地区）

市町村名	対象地区（集落）名	作成年月	直近の更新年月日
水戸市	酒門 (緑岡, 酒門, 吉沢, 寿, 笠原, 吉田, 竹隈, 上大野)	平成24年 8 月	令和5年5月1日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積(ha)	1256.8
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者または耕作者の耕作面積の合計(ha)	665.1
※ 回答率(②/①)	52.9%
③ ①のうち地区内における75歳以上の農業者の耕作面積の合計(ha)	328.4
i ②のうち後継者のいない農業者の耕作面積の合計(ha)	55.1
ii ②のうち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計(ha)	14.2
⑤小計(i + ii)	69.3
④ ②のうち地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計(ha)	142.0
⑥地区内で後継者がいないか不明の推計面積(ha)(⑤/回答率)	131.0
⑦中心経営体による、地区内の後継者がいないか不明の推計面積カバー率(④/⑥)	108.5%

2 対象地区の課題

<p>酒門（プラン全域）については、5年後も概ね担い手が確保された状況にあると推測される。</p> <p>寿, 吉田, 吉沢地区においては中心経営体が不足しており、将来的な農業環境維持のため、新たな担い手の確保が必要となっている。</p> <p>酒門, 竹隈, 上大野地区においては、農地の貸付意向の情報が十分に行きわたっていないと感じる中心経営体もあり、効率的なマッチングの推進が課題となっている。</p>
--

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

地区（集落）名	緑岡
<p>中心経営体である認定農業者が中心となった農地利用を図るとともに、必要に応じて入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進する。</p>	

地区（集落）名	寿
<p>中心経営体が不足しているため、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進し、将来的な農地の担い手確保を促進する。</p>	

地区（集落）名	吉田
<p>中心経営体が不足しているため、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進し、将来的な農地の担い手確保を図る。</p>	

地区（集落）名	酒門
<p>原則として中心経営体である認定農業者、集落営農組織が中心となった農地利用を図り、必要に応じて入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進する。また、中心経営体への農地の効率的な配分に向け、マッチング体制を強化するための取組が必要である。</p>	

地区（集落）名	吉沢
<p>中心経営体が不足しているため、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進し、将来的な農地の担い手確保を図る。</p>	

地区（集落）名	笠原
<p>中心経営体である認定農業者が担い手となって、今後の農地利用を図る。</p>	

地区（集落）名	竹隈
<p>原則として中心経営体である認定農業者が中心となった農地利用を図り、必要に応じて入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進する。また、また、中心経営体への農地の効率的な配分に向け、マッチング体制を強化するための取組が必要である。</p>	

地区（集落）名	上大野
<p>原則として中心経営体である認定農業者が中心となった農地利用を図り、必要に応じて入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進する。また、中心経営体への農地の効率的な配分に向け、マッチング体制を強化するための取組が必要である。また、今後の農地集積の具体的な内容に関して、関係者、関係機関の連携による話合いの開催が必要となる。</p>	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

市、農業委員会の連携のもと、地域において話合いの中心となる農業者の状況などの把握に努め、土地改良事業実施地区、農業多面的機能の農地維持活動地区、農地中間管理事業モデル地区などのエリアを中心に、各地区の状況に応じ、農地所有者、耕作者、地域住民及び関係機関等による、農地の集積・集約に係る話合いの活性化を図る。

市、農業委員会、中間管理機構等関係機関が連携し、貸し付け意向のある農地が中心経営体へ円滑に配分されるよう、貸し付け意向の情報共有等の体制整備を検討する。